

※校訓、目指す児童・生徒像

よりよい社会をつくる人となろう

※学校教育目標【方針】

- 1 真理を窮め 正義を愛する
- 2 自由を尊び 責任を重んずる
- 3 生命を尊び 博愛に生きる
- 4 創造力を養い 技術を磨く
- 5 体力を培い 情操を豊かにする

福井県教育委員会

「一人一人の個性が輝く、ふくいの未来を担うづくり」

(福井県教育振興基本計画の基本理念)

学校業務改善のための取組

- ①業務のDX化を推進し、できるかぎり会議の回数や時間の短縮を図る。
- ②部活動の定休日などを利用し、学習指導・学校校務の時間を確保する。

人権教育の推進

- ①学校の教育活動全体を通して、偏見や差別意識の払拭を図る人権尊重の教育に努める。
- ②人権教育の研修会を計画し行い、教職員全体で生徒の人権意識の高揚に取り組む。

重点目標

1 教育課程・学習支援  
(共通項目)  
教務部

- ・生徒の主体的な学習態度を育成する。
- ・授業向上のため学科、教科を横断した授業研究の取り組みを積極的に進める。

2 生徒支援  
(共通項目)  
生徒指導部

- ・基本的生活習慣と規範意識を身につけさせる。
- ・自主的活動の充実を図る。

3 進路支援  
(共通項目)  
進路指導部

- ・生徒が主体的に進路選択に取り組む態度を育成しながら希望の実現を図る。

4 保健管理  
(独自項目)  
保健部

- ・生徒自らの健康管理が出来る能力と態度を育成する。
- ・環境美化に対する態度を育成する。

5 保護者との連携  
(独自項目)  
図書庶務部

- ・保護者との連携を深め生徒の健全な育成を図る。

6 図書・視聴覚支援  
(独自項目)  
図書庶務部

- ・読書に興味と関心を持たせる。
- ・視聴覚教材の効果的利用を図る。

7 ものづくり教育  
(独自項目)

- ・学科の特徴を生かした資格取得に挑戦させ、学習意欲を喚起させる。
- ・課題研究に積極的に取り組み、ものづくりに興味関心を持たせる。

具体的取組

a 単元の進度ごとに目標を明確にした授業を展開する。  
【目標】  
授業の進度を良いと感じた生徒の割合を80%以上とする。

b 小テストの実施、レポート・課題の充実、ICT教材やポートフォリオ等を活用した学習支援を通して生徒の資質の向上を図り、学習到達度の自己理解を深めさせる。  
【目標】  
レポート・課題の提出期限をおおむね守れた生徒の割合を80%以上とする。

具体的取組

a 毎朝の玄関指導、各学期の頭髮服装検査を行い、基本的生活習慣および規範意識の向上に努める。  
【目標】  
各学期において遅刻1回以下の生徒の割合を80%以上とする。また、頭髮服装検査において1回目合格者の割合を65%以上とする。

b 部活動の充実を図る。  
【目標】  
部活動の満足度を80%以上とする。

c 情報モラルを正しく身につけさせ、トラブルの未然防止に努める。  
【目標】  
インターネットを適正に利用できる割合を80%以上とする。

具体的取組

a 進路一斉模試、進路一斉指導等を実施し、基礎学力の向上と進路意識の高揚を図る。  
【目標】  
進路一斉模試で学年の平均を60点以上とする。

b 進学や就職のガイダンス、面接、作文指導等を実施し、選考試験に合格できる実力を身につけさせる。  
【目標】  
進学：第1希望校への合格率を80%以上とする。  
就職：1社目の内定率を90%以上とする。

具体的取組

a 健康診断を計画的に実施し、早期発見・早期治療に努める。  
【目標】  
健康診断等を活用して自分の健康を管理できる割合を90%以上とする。

b 悩みや困ったことを相談できる環境を充実させる。  
【目標】  
相談できる手段のある割合を90%以上にする。

c 学習環境に関心を持ち、環境の美化・整備を進める。  
【目標】  
自ら清掃活動の取り組みができる割合を90%以上とする。

具体的取組

a 保護者と学校との連携事業(バザー販売等)を実施する。  
【目標】  
80%以上の保護者の共感を得る。

b 広報活動の一環として、PTA広報紙「水仙」の充実を図る。  
【目標】  
学校行事について80%以上の保護者の理解を得る。

具体的取組

a 朝読書や広報活動を通して、読書に親しみを持たせ、読書に興味・関心を持たせる。  
【目標】  
本の貸出し数を10%増やす。

b ICT環境の整備と効果的活用を図る。  
【目標】  
視聴覚機器・ICT機器の利用を教職員数の80%以上とする。

具体的取組

a 検定や資格試験に積極的に取り組む。  
b 地域と協働して課題等を解決し、活性化につながる取組みを行い、各科での発表会や校内での課題研究発表会で、成果を披露させる。  
c ものづくりコンテストやロボットコンテストをはじめ各種コンテストに積極的に参加させる。

【目標】  
各項目について意欲的に取り組む生徒の割合を80%以上とする。